

第 1 学年 理科

1 年間学習計画

学期	月	単元	内容	教科書・教材等
前期	4	いろいろな生物 と共通点	・生物の観察と分類の仕方	教科書 ・新しい理科 (東京書籍) 副教材 ・理科便覧 (浜島書店)
	5		・植物の分類	
	6		・動物の分類	
	7	大地の変化	・火をふく大地 ・動き続ける大地 ・地層からよみとる大地の変化	
	9			
	10			
後期	11	身の回りの物質	・身のまわりの物質とその性質	
	12		・気体の性質 ・水溶液の性質 ・物質の姿と状態変化	
	1			
	2	身のまわりの現象	・光の世界 ・音の世界 ・力の世界	
	3			

2 観点別評価・評定・具体的な手立て

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	定期考査 提出物（ワークシートなど） 観察、実験中の技能 パフォーマンステスト レポート	定期考査 提出物（ワークシートなど） レポート ポートフォリオ	提出物（ワークシートなど） 授業ノート 解き直しノート レポート ポートフォリオ
評価規準例	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。
具体的な手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオに学習内容をまとめ、要点を抑え、基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ・観察・実験の手順や留意点を抑え、観察・実験の技能を身に付ける。 ・観察・実験をする機会を多く設定することによって観察・実験の技能を身に付ける。 ・観察・実験の結果のまとめ方を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ」という疑問を絶えずもちながら授業を受ける。 ・実験結果からわかることを言葉や文章でまとめることができる。 ・授業での課題について説明できるようにする。 ・学んだことをもとに、自ら課題を設定することができる。 ・グループでの活動の際に自分の意見を主張し、相手の意見を受け入れながらより良いものにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決・達成を目指して授業を進める。 ・自らの学習を振り返り、自己の学習をより良い方向へ調整・改善し続ける姿勢をもつ。 ・授業に興味を持ちながら、話を聞いたり、板書を写したりしている。 ・自分の課題を見つけ、その課題を解決できるように問題演習等に取り組んでいる。

3 アドバイス

<p>(1) 授業中に心がけること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒板に書かれた事項をノートやワークシートに正確に書く。 ・話をしっかり聞き、メモをとる。 ・実験や観察には積極的に参加する。 ・グループ学習・活動には積極的に参加し、自分の意見を述べたり、相手の意見を尊重したりする。 ・疑問を持った際には、授業後や休み時間に質問をする。そのままにはしない。 <p>(2) 家庭で心がけること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習をする。 ・授業でした内容を言葉で説明できるようにする。 <p>(3) 普段の生活で心がけてほしいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問をもちながら生活すること。（なんで空は青いのかなど）
